

感染症対策方針

NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは参加者およびスタッフが安心してプログラムに参加できるよう、下記の方針でプログラムを運営いたします。またこの対策方針は感染症の流行状況により、適宜追加変更を行います。

■マスク着用について

参加者、スタッフ共に、活動中のマスクの着用は「個人の判断」とさせていただきます

参加者の皆さんについて

プログラム参加時のお願い

- ・咳エチケットやこまめな手洗い・手指消毒
- ・ハンカチなどのご持参
- ・こまめな水分補給

下記に該当する方は、参加することができません

※ただし参加が可能な旨、医師の診断を得た場合を除く

- ・参加者自身および家族が、強いだるさ・咳、痰、のどの痛み・発熱・息苦しさ・味覚・嗅覚障害の症状がある場合（発熱とは、平熱の+1 度以上を意味します）

スタッフの対応およびプログラム運営について

- ・スタッフ自身および同居家族が、医療機関において感染症を疑う症状があると判断された場合、明らかな当該感染症状がみられる場合、保健所より濃厚接触者と認定された場合は参加しません
- ・スタッフは事業当日に検温を行い、体調の管理を行います。発熱または風邪症状がある場合は従事いたしません
- ・スタッフは手洗い、手指消毒、うがいを徹底します
- ・施設を利用する場合は、施設が提示しているガイドラインを遵守するものとします
- ・食事前、屋外から屋内に入る際、手洗い、アルコール消毒の徹底をします

プログラム中に体調不良者が出た場合

- ・高熱や怪我など、専門の治療を要する参加者等が発生した場合、速やかに医療機関に搬送できるよう医療機関、移動手段等の事前確認を徹底します
 - ・プログラム実施中に、体調不良者が発生した場合は、次の手続きを取るものとします
- (ア) 救護部屋へと隔離する
 - (イ) スタッフは、マスク(必要に応じて防護服)を着用し対応にあたる
 - (ウ) 体調不良者が室内で発生した場合は、その部屋の換気をおこなう
 - (エ) 保護者へ連絡をおこない、お迎えの調整をする
 - (オ) 体調不良者の症状が次の症状を訴えている場合においては、感染症への感染を考慮するものとする(37.5℃以上の発熱がある、強いだるさを訴えている、息苦しさがある、味覚および嗅覚に異常がある)
 - (カ) 症状が重篤な場合においては、保護者および各保健所等の相談窓口にご相談し医療機関に搬送する
 - (キ) 感染症への感染が濃厚である場合については、プログラムを中止し、感染拡大に最大の留意をして、参加者を帰宅させるものとする